HyuuRa（ヒューラ）水素ラドン 02 吸入器

取扱説明書・保証書

水素・ラドン・酸素 を選べる 3 モード吸入器 ｜ はじめての方にも分かりやすい操作ガイド



毎日の操作を、もっとわかりやすく。

写真付きの手順で、接続・起動・モード切替・日常のお手入れをご案内します。

必ずお読みください ご使用前に「安全上の注意」（3〜8 ページ）と「はじめての起動手順」（9〜10 ページ）をご確認ください。

本書はいつでも確認できる場所に保管してください。

Hyuura P2

はじめに・もくじ

本体・付属品に不足や破損がないか確認してからご使用ください。

最初の流れ　安全確認 → 電源接続 → 精製水の給水 → 起動 → 準備モード→モード選択 → 吸入開始

もくじ

03 | 安全上の注意｜①火気・電気｜②設置・使用	20 | 高濃度水素水のつくり方
04 | 安全上の注意③-1【重要】故障防止のためのお願い	21 | 精製水ランプが点滅した場合
05 | 安全上の注意③-2【重要】故障防止のためのお願い	22 | フィルター交換及びカバーの取り外し
06 | 安全上の注意④｜重要】交換後は必ずリセットする	23 | フィルターの交換
07 | 安全上の注意⑤【重要】冷却ファン・設置場所	24 | フィルターカバーの取り付けとリセット方法
08 | 安全上の注意⑥【重要】作動中に吸入器を傾けない	25 | 給水キャップの清掃・交換について
09 | はじめての初回起動①｜電源を接続	26 | 返却・輸送時の精製水の排水
10 | はじめての起動手順②｜給水・起動	27 | Radon（ラドン）について
11 | 本体各部の名称｜操作パネル	28 | Radon（ラドン）について（2 ページ目）
12 | 表示ランプの見方｜拡大図	29 | ドイツ産ラジウム鉱石（原石）からの加工及び設置工程
13 | 運転開始と吸入モードの切り替え	30 | 付属品一覧①
14 | タイマーの設定	31 | 付属品一覧②
15 | 各モード接続口への接続方法	32 | 製品仕様（スペック）
16 | 鼻腔カニューラ及びヘッドセットと取付け方法	33 | 保証・お問い合わせ
17 | 各モードのエアー（ガス）の吐出量について	34 | 保証書記入欄
18 | エアー（ガス）が出ているか確認する方法	35 | 困ったときの確認、毎日の操作｜チェック表
19 | 水集器（タンク）の接続とお手入れ	36 | 毎日のケアを、身近に

初回は準備モードが必要です。表示内容を確認しながら操作してください。

安全上の注意①｜火気・電気

重大な事故を防ぐため、運転前に必ず確認してください。

警　告

水素、酸素は燃えやすい気体です。火気・喫煙・点火源を近づけず、十分に換気してください。

必ず守っていただきたいこと

01	火気厳禁・各モードから排出される、エアー（ガス）をためない：運転中は喫煙・ライター・コンロを避け、発生エアー（ガス）を袋や容器にためないでください。
02	分解・修理・改造をしない：感電・火災・故障の原因となります。修理は販売店へご相談ください。
03	電源コードを傷めない：強い曲げ・ねじり・引っ張り・挟み込みや、熱源の近くでの使用を避けてください。
04	コンセントの定格を守る：過負荷の延長配線、緩いコンセント、損傷したコードは使用しないでください。
05	電源プラグを正しく扱う：ほこりを除去し根元まで差し込みます。抜くときはプラグ本体を持ってください。

使用を中止

異音・異臭・異常な発熱があるときは運転を停止し、主電源を切って使用を中止してください。

安全上の注意②｜設置・使用

使用環境・給水・お手入れの基本を確認してください。

設置・使用時の確認事項

01	水平で安定した室内に設置し、直射日光・火気・水・湿気・ほこり・油煙を避けてください。使用環境は 5℃超〜35℃未満が目安です。
02	吸気口・排気口をふさがず、異物や指を入れないでください。転倒やほこりの堆積にもご注意ください。
03	本体を水洗いしないでください。濡れた手で電源プラグを扱わないでください。お手入れ前は電源を抜いてください。
04	操作に不慣れなお子さまだけで使用させないでください。ペットによるコードの損傷にもご注意ください。
05	給水量の上限を守ってください。初回は約 1,000mL（500mL×2 本）、2 回目以降、ランプ点滅時は約 500mL（1 本）が目安です。
06	お手入れにアルコール・ベンジン・シンナーなどの溶剤を使用しないでください。

移動・輸送

精製水を入れたまま長時間運ぶと故障の原因となります。返却・輸送時には必ず排水してください（26 ページ）。

安全上の注意③-1｜【重要】故障防止のためのお願い

重　要	**HyuuRa（ヒューラ）は、運転終了後も数時間ごとに、自動で内部を循環させるメンテナンス機能が備わっています。** **この機能は、本体内部のカビや汚れの発生を抑えるとともに、水素・酸素を生成するセルエンジン内部のプラグの乾燥を防ぎ、装置を良好な状態に保つことを目的としています。**



運転終了後（使用後）に守ること

01	本体背面の主電源を切らず、電源コードはコンセントに接続したままにしてください。
02	運転終了後は本体内部で数時間毎に自動で循環するメンテナンスなどの動作が行われます。
03	操作パネルの「ON/OFF」ボタンは通常どおり使用できます。
04	**自動循環メンテナンス中は、ある一定量の精製水を必要とします。その為、精製水が不足した場合は給水ランプが点滅しますので、精製水を必ず補充してください。**
故障防止	自動メンテナンス中の主電源 OFF・電源プラグの抜去は故障の原因になるおそれがあります。

安全上の注意③−2｜【重要】故障防止のためのお願い

⚠【注意】万が一、主電源を切ったり、電源コードを抜いてしまった場合の対処法



⚠ 使用後の重要なお願い

運転終了後も、本体背面の主電源は切らず、電源コードをコンセントから抜かないでください。

自動循環メンテナンスが正常に行われなくなると、内部の乾燥や汚れなどにより、故障の原因となるおそれがあります。

安全上の注意④｜【重要】交換後は必ずリセットする

累計使用時間 500 時間ごとにフィルターを交換する。交換時は操作パネルの電源を OFF にしてから交換する。交換後は必ず、「準備モード／フィルター」ボタンを長押ししてリセットしてください。





必ずリセット

交換後、カバーを閉めてから「準備モード／フィルター」ボタンを長押ししてリセットしてください。
リセットしないと使用時間が正しくカウントされず、故障の原因となるおそれがあります。**交換の詳しい手順は 22〜24 ページ。**

安全上の注意⑤｜【重要】冷却ファン・設置場所

冷却を妨げないよう、本体の左右には物を置かないでください。



空気の流れ

01	本体の右側にある冷却ファンから空気を吸い込みます。
02	本体の左側にある冷却ファンから空気を排出します。
03	家具・壁・小物などで吸気口・排気口をふさがないでください。
設置時の注意	左右に十分な通気スペースを確保し、吸入器の周囲には物を近づけないでください。

安全上の注意⑥｜【重要】作動中に吸入器を傾けない

使用時に吸入器を傾けるとセーフティーモードに入り、運転を停止します。

使用時は絶対に動かさないでください。



⚠ 使用中の注意事項

使用中に吸入器本体を傾けると、セーフティーモードが作動し、運転が自動的に停止します。

使用中は本体を動かさず、必ず水平で安定した場所に設置してください。

はじめての起動手順①｜電源を接続

電源接続の 4 ステップ。主電源スイッチと接続口を確認してください。



STEP 01〜04	① 背面の電源部を確認 →②電源コードを本体に接続→③プラグをコンセントへ → ④ 主電源スイッチを「ー(ON)」側へ

注意 01	本体背面の主電源を切らず、電源コードはコンセントに接続したままにしてください。
注意 02	運転終了後は本体内部で数時間毎に自動循環メンテナンスなどの動作が行われます。

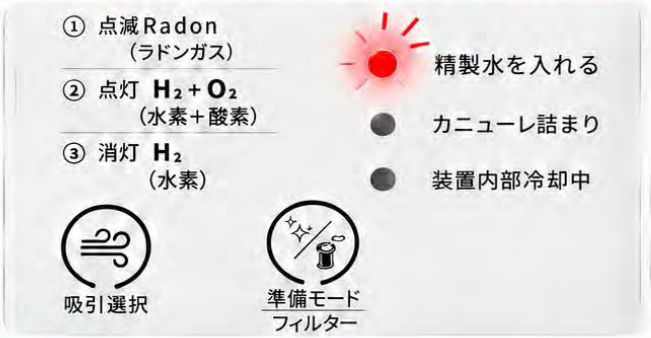
注意 03	操作パネルの「ON/OFF」ボタンは通常どおり使用できます。

Hyuura P10

はじめての起動手順②｜給水・起動

給水ランプの点滅を確認してから、精製水を入れて起動します。

05 精製水を入れるランプが点滅します



「精製水を入れる」ランプが点滅します。

この表示が出たら、
次の手順で精製水を入れます。

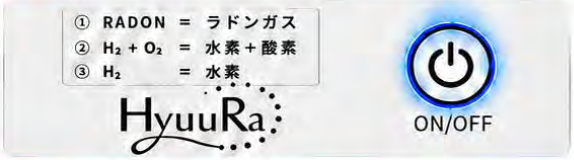
06 精製水を約1,000mL 入れる



本体上面の給水キャップを開き、
給水口へ HyuuRa 専用精製水を
初回のみ1,000ml（500ml×2本）
ゆっくり注ぎます。

重要
水道水は絶対に使用しないでください。

07 ON/OFFボタンを押してONの状態にする



本体上面の「ON/OFF」ボタンを
１回押して、起動してください。

08 約1分、ランプが消えると使用できます。



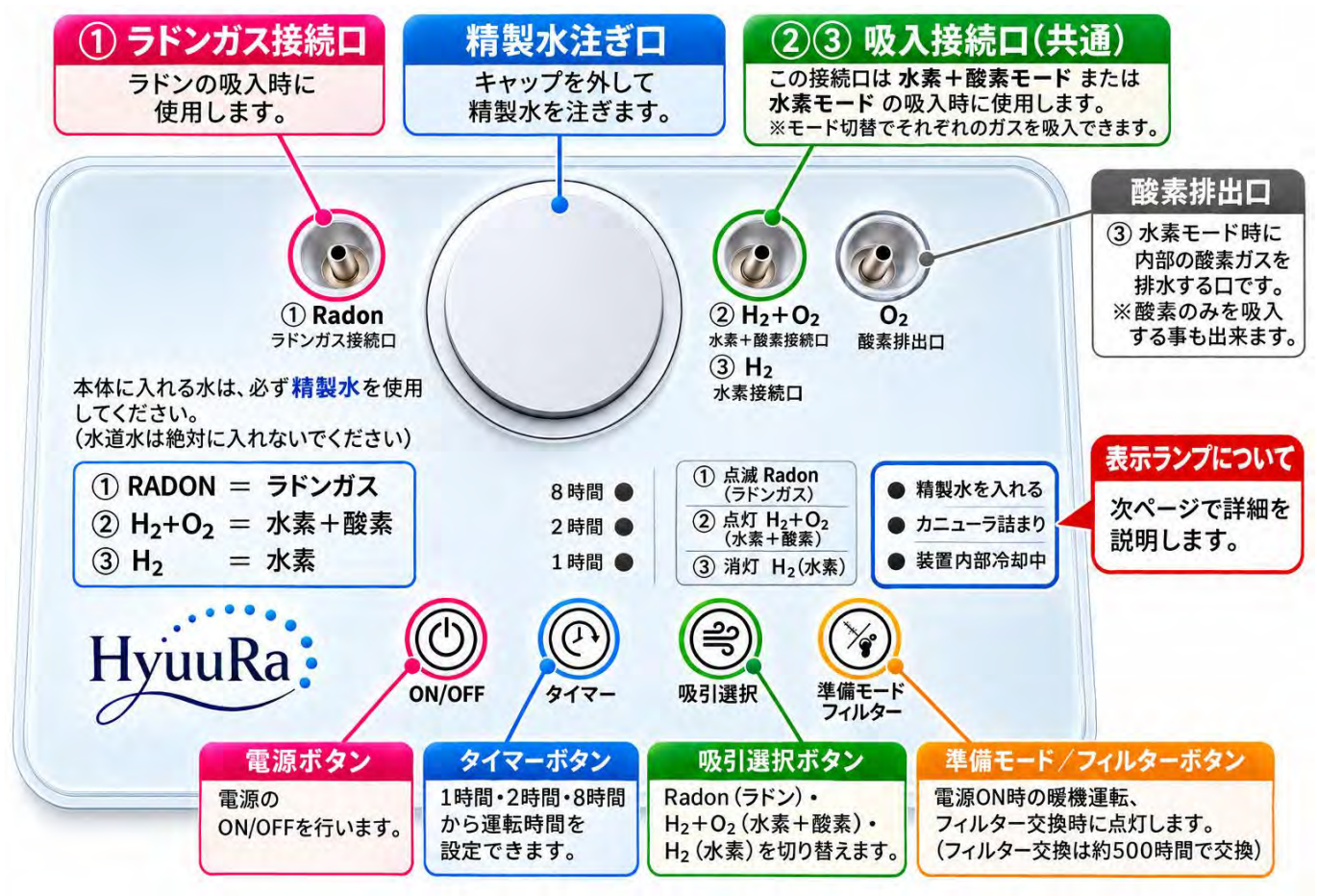
自動的に準備モードに入ります。
ランプ点灯後、約１分間そのまま
お待ちください。

重要 準備モード中は、ほかのボタンを押さないでください。
故障の原因になります。

STEP 05〜08	⑤ 給水ランプ点滅 → ⑥ 専用精製水約 1,000mL を給水 → ⑦ ON/OFF を押して ON の状態にする → ⑧ 約 1 分の準備モード終了を待つ。 開始出来るまでに、次ページの本体各部の名称｜操作パネル｜表示ランプの見方をご確認ください。

本体各部の名称｜操作パネル

図とあわせて、接続口・ボタン・表示灯の役割を確認してください。

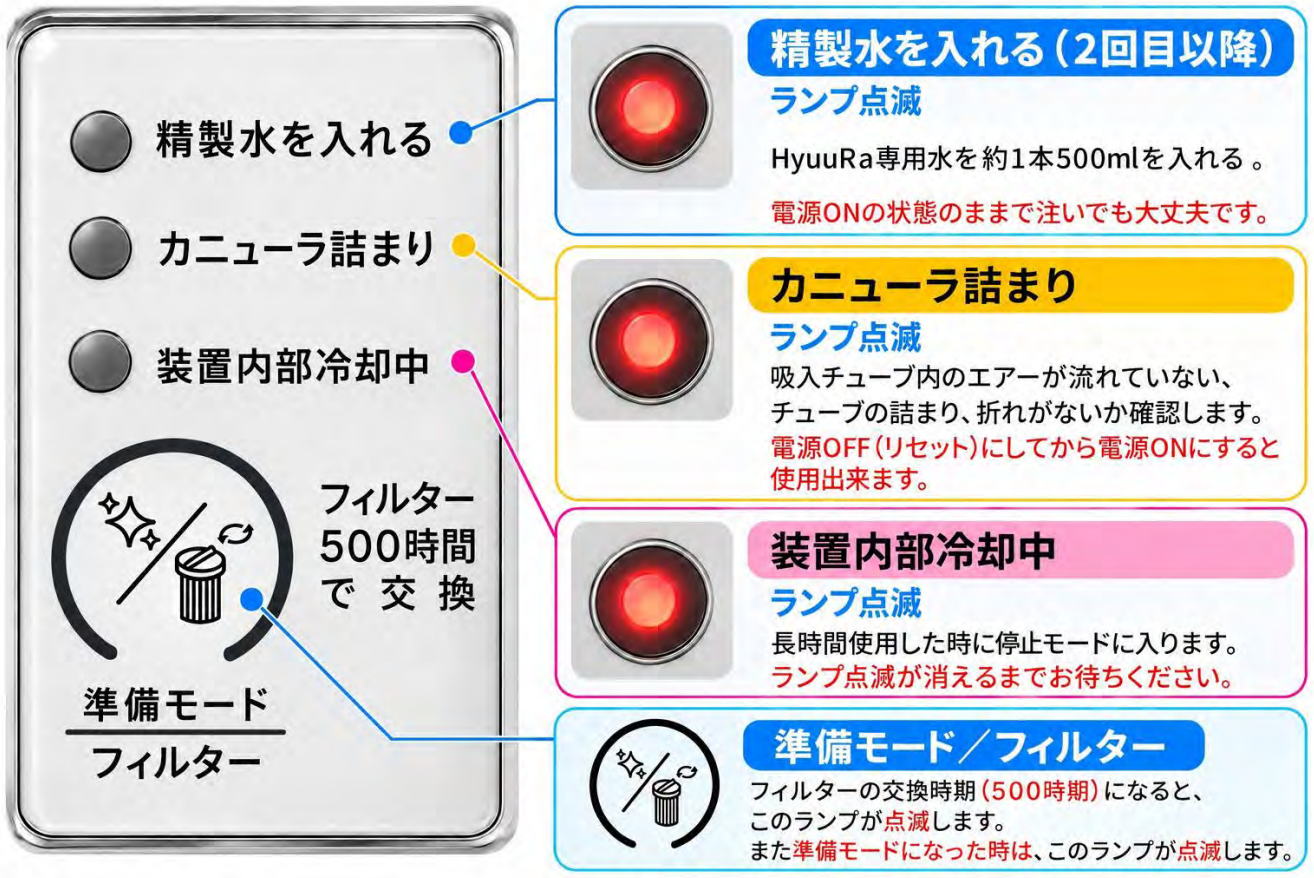


各部のはたらき

01	① ラドンガス接続口：ラドンモードの吸入時に使用します。
02	② 水素＋酸素／③ 水素の共通接続口で吸入モードを切り替え、同じ吸入口を使用します。
03	O_2酸素排出口：水素モードで発生した酸素を排出する口です。補助的な用途の接続口です。
04	操作ボタン：ON/OFF・タイマー・吸引選択。右側の表示ランプで給水・詰まり・内部冷却などを確認します。表示ランプは次ページへ続く

表示ランプの見方｜拡大図

ランプが点滅したときは、表示内容に応じて対処してください。

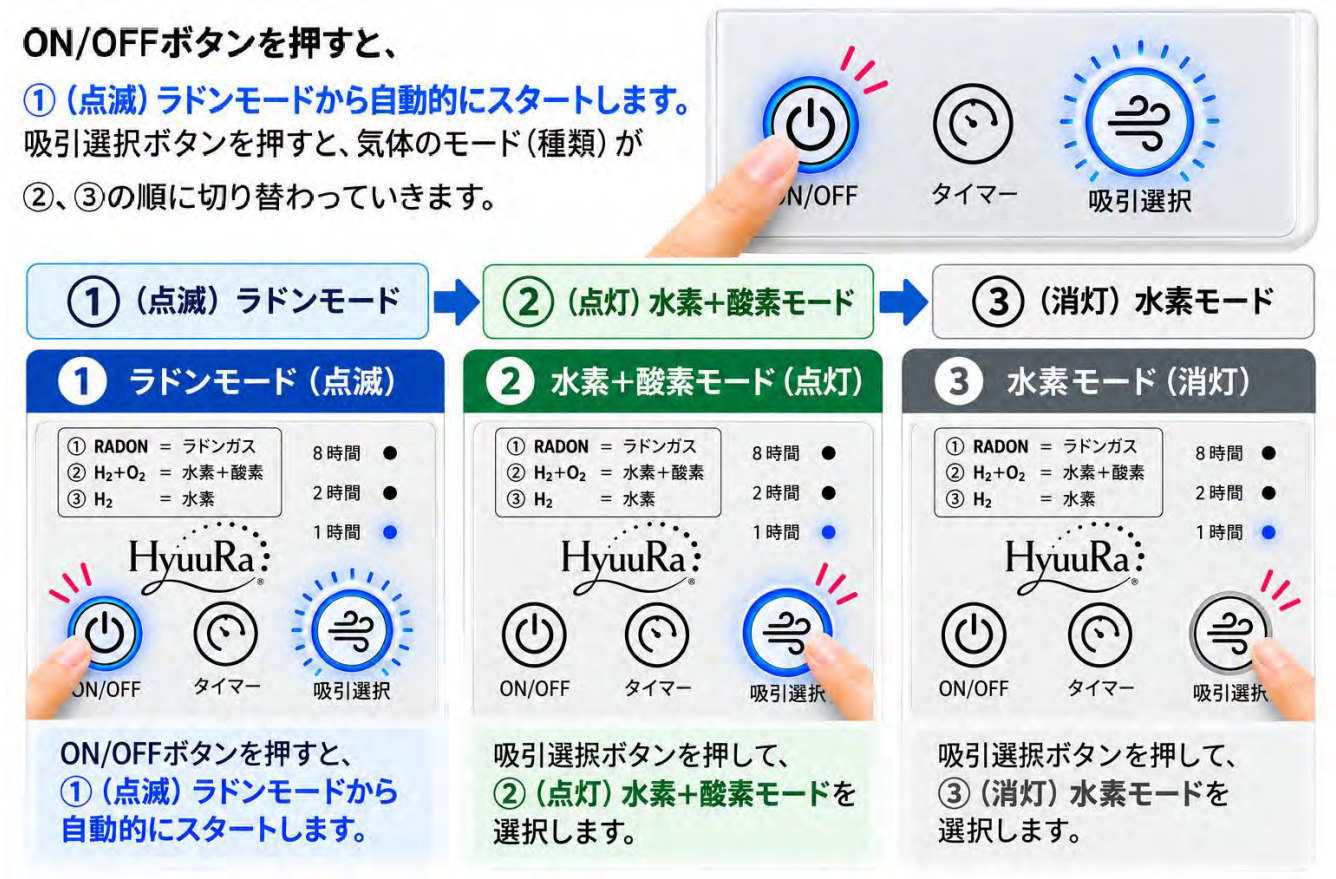


精製水	「精製水を入れる」が点滅したら、HyuuRa 専用精製水を約 500mL 補充してください（21 ページ）。
カニューラ	「カニューラ詰まり」が点滅したら、吸入チューブの詰まりや折れを確認し、電源 OFF（リセット）後、再度 ON にしてください。
内部冷却中	「装置内部冷却中」が点滅→オーバーヒートです→ランプ点滅が消えるまで、しばらく内部冷却させてください。 ※オーバーヒートを起こさないように、1 日各モード 1 時間を目安にご使用ください。

※「装置内部冷却中」が点滅したときは、ランプ点滅が消えるまで、一時停止して冷却が終わるまでお待ちください。

運転開始と吸入モードの切り替え

「ON/OFF」を押すと、ラドンモードから自動的に開始します。



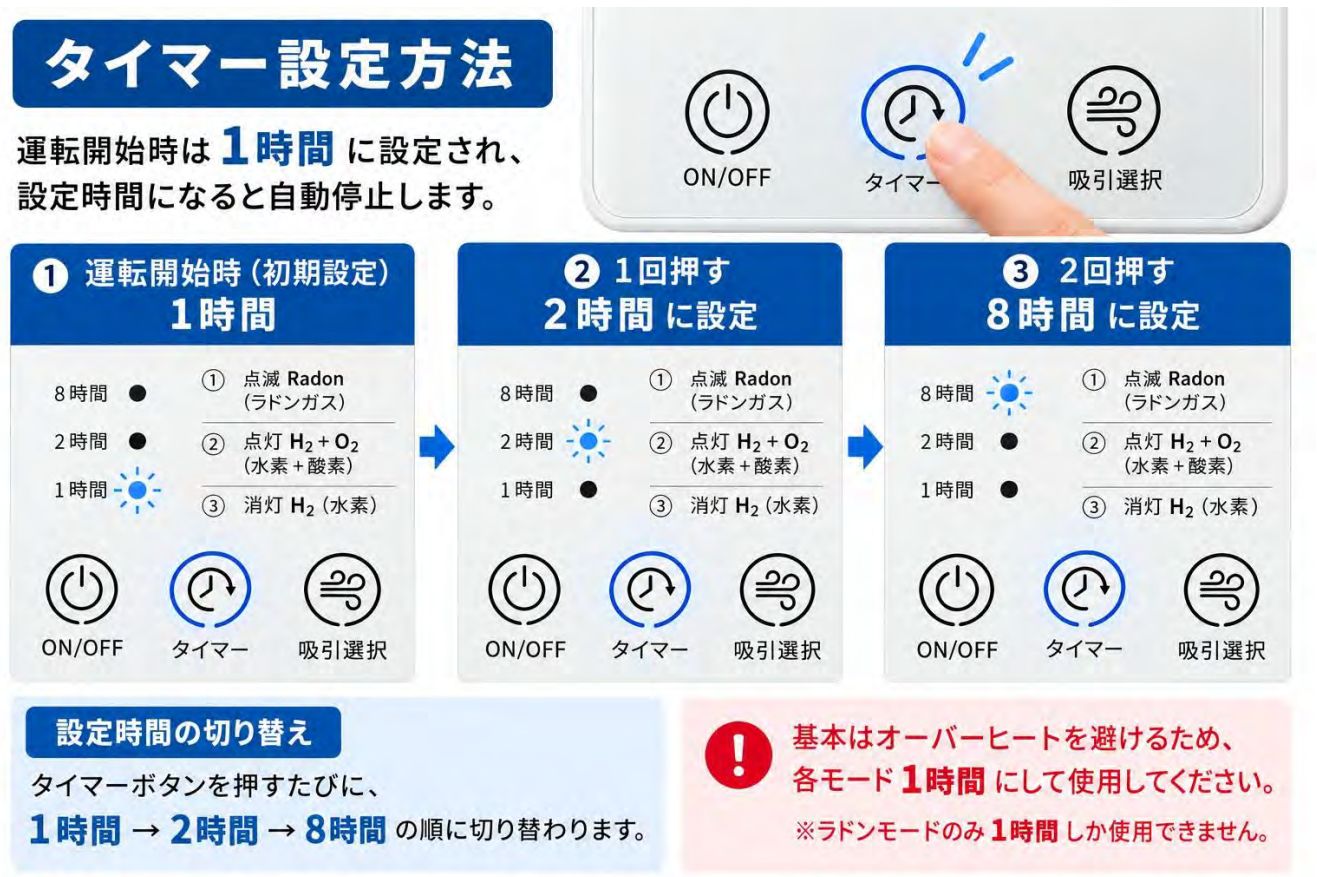
ランプの状態で確認

01	① ラドンモード：吸引選択ランプが「点滅」します。起動時はこのモードです。
02	② 水素＋酸素モード：吸引選択ランプが「点灯」します。
03	③ 水素モード：吸引選択ランプが「消灯」します。
ポイント	モードを切り替えたら、対応する接続口へ吸入チューブをつないでください（15 ページ）。

タイマーの設定

初期設定は 1 時間です。ボタンで 1 時間 → 2 時間 → 8 時間と切り替わります。

基本的にオーバーヒートを避けるため、「各モード 1 時間」を目安に使用する事をおすすめします。

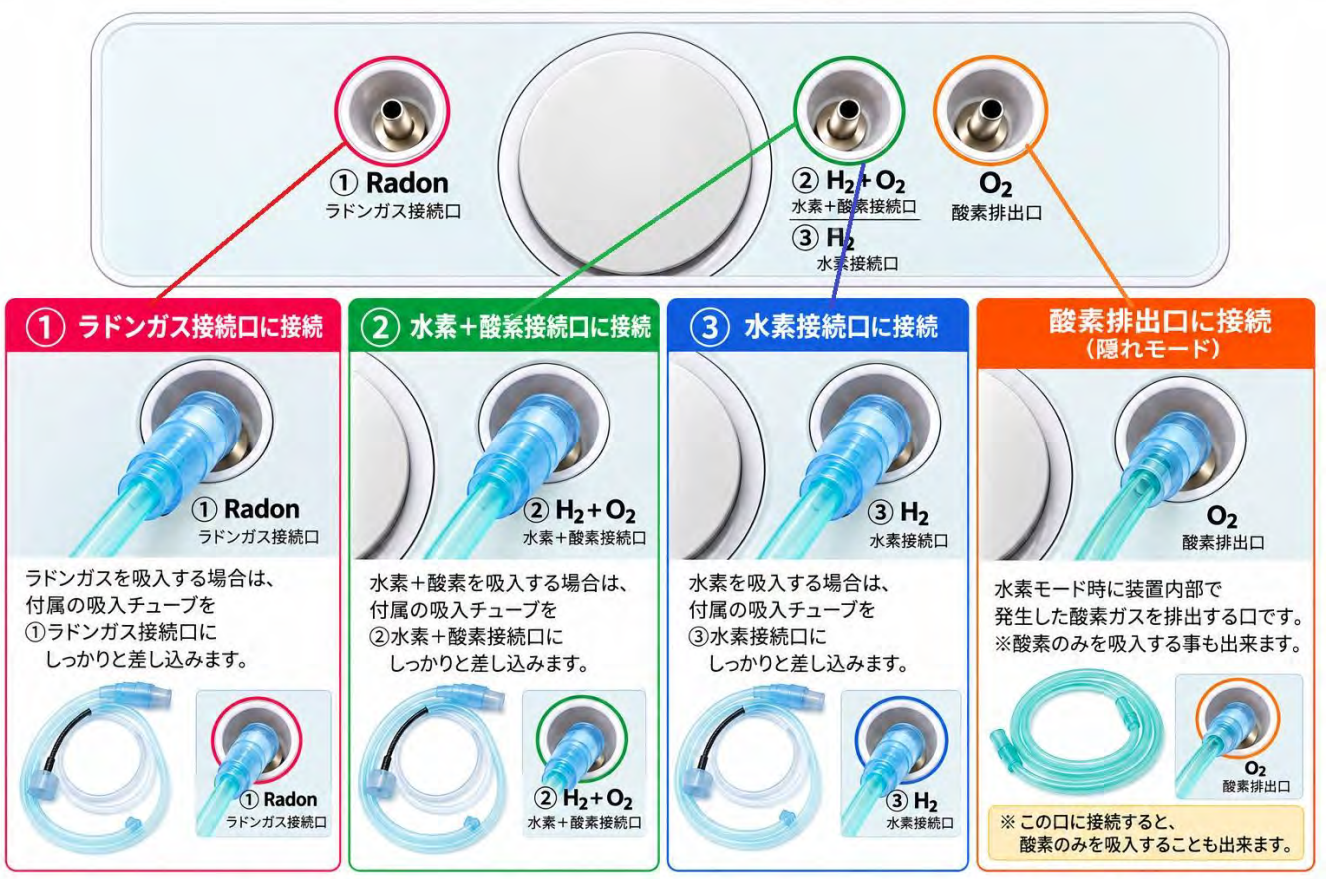


時間の設定

01	運転開始時は「1 時間」が点灯します（初期設定）。
02	タイマーボタンを 1 回押すと「2 時間」に切り替わります。
03	タイマーボタンを 2 回押すと「8 時間」に切り替わります。
ご使用時間	各モード 1 回 1 時間を基本の目安とし、ラドンモードは 1 時間のみ使用できます。

各モード接続口への接続方法

選択した吸入モードに合わせて、接続口を確認してください。



吸入チューブの接続

01	ラドン吸入：①ラドンガス接続口へ吸入チューブを接続。
02	水素＋酸素吸入：②③の共通接続口へ接続して、「水素＋酸素モード」を選択
03	水素吸入：②③の共通接続口へ接続して、「水素モード」を選択
04	酸素（02）吸入（排出口）：水素モードで発生した酸素を排出する接続口です（補助的な機能）。

鼻腔カニューラ及びヘッドセットと取付け方法

水素または水素＋酸素モードを 2 時間以上使用するときに接続します。

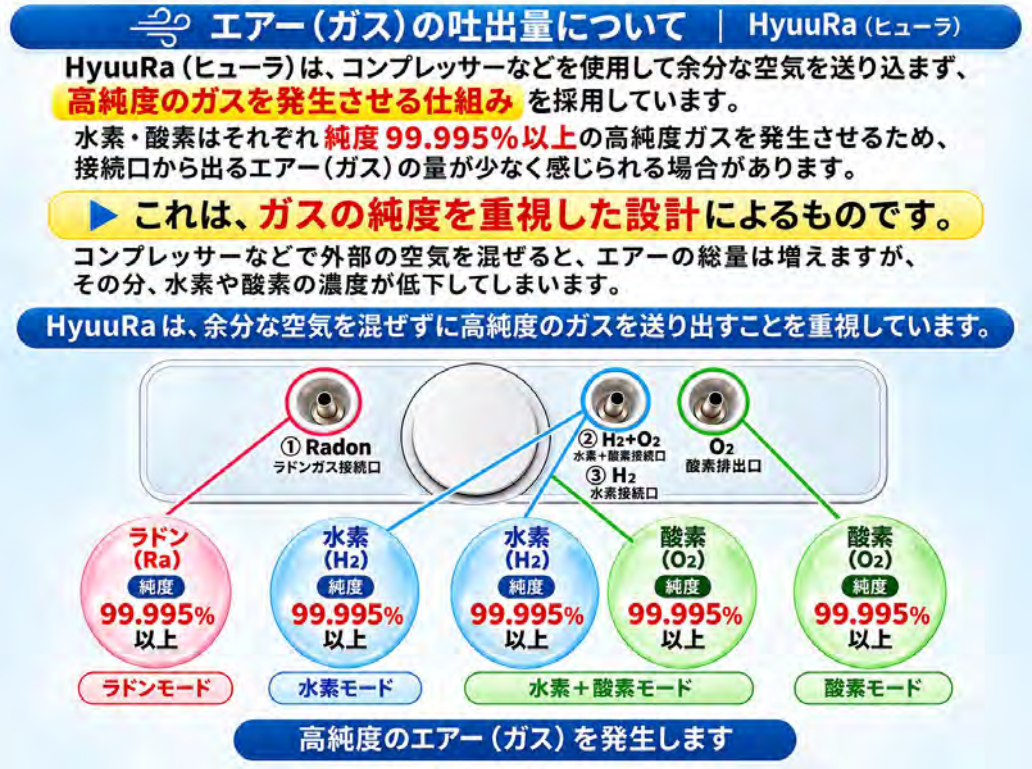




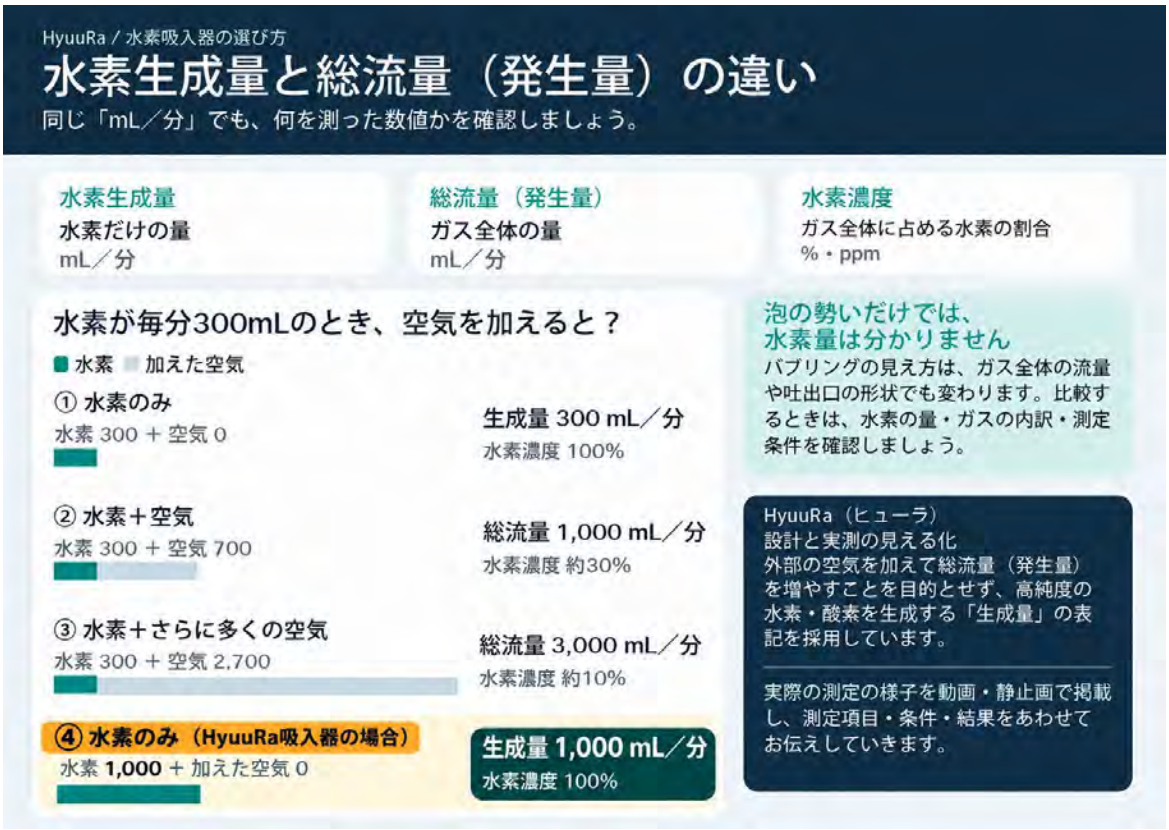
Hyuura P17

各モードのエアー（ガス）の吐出量（について

HyuuRa（ヒューラ）は、余分な空気を混ぜずに高純度のガスを送り出すことを重視しています。



水素吸入器は「流量の大きさ」だけで選ばない。水素濃度と生成量の正しい見方



エアー（ガス）が出ているか確認する方法

各モードの接続口から正常にエアー（ガス）が出ているかは、以下の方法で確認できます。



確認する前に、吸入チューブを使用するモードの接続口へ確実に差し込んでください。

① 耳元で音を確認する方法

鼻腔カニューラまたはヘッドセットのエアー吹出口を耳元に近づけ、エアー（ガス）が出ている音を確認してください。

② バブリングで確認する方法

専用の接続管を使用し、水中にガスを送り込むことで、気泡（泡）が発生しているかを目で確認できます。詳しい接続方法は、20 ページ「バブリングの方法」をご参照ください。
※バブリングによる確認は、対応する接続管・モードで行ってください。

【ご確認ください】

エアー（ガス）の流れを弱く感じる場合でも、必ずしも故障とは限りません。

エアーが出ていることを確認できない場合は、吸入チューブの接続状態や折れ・詰まりがないかをご確認ください。

水集器（タンク）の接続とお手入れ

水素または水素＋酸素モードを 2 時間以上使用するときに接続します。

使用するタイミング 水素モード／水素＋酸素 モードを **2時間以上** 使用するとき

チューブ内に水滴が発生するため、下記の手順で水集器（タンク）を取り付けてください。

1 接続方法

吸入前に準備します



1 水集器を用意する

水集器（タンク）と、接続用チューブを用意します。



2 本体に接続する

水集器につながったチューブを、本体の②・③共通接続口（水素＋酸素／水素）へ差し込みます。



3 吸入チューブを接続

水集器のもう一方の接続口に、吸入チューブをつなぎます。

2 使用後のお手入れ

運転終了後に行います



4 容器を取り外す

電源を切り、容器を左（反時計回り）に回して、下に引くと外れます。



5 水滴を拭き取る

取り外した容器の内側に付いた水滴を、ティッシュペーパーで拭き取ります。



6 容器を元に戻す

容器を差し込み、右（時計回り）に回して元どおりに取り付けます。。

補足

1時間モードでは、水集器を使用せず、吸入チューブを本体の接続口へ直接つないで使用できます。

※吸入チューブ内に少量の水滴が付着する場合がありますが、問題ありません。

ご注意 お手入れは、必ず本体の運転を停止してから行ってください。

HyuuRa | 水集器（タンク）接続・お手入れガイド 1 / 1

高濃度水素水のつくり方

水素モードと付属の水素水接続管を使用します。**※バブリングは最大 1 日 1 時間を目安としてください。**

【水素水の生成について】水素水は、あくまでも補助的な用途としてお楽しみください。

HyuuRa（ヒューラ）は、水素を直接吸入することを主な目的として開発された吸入器です。

水素水の生成を主な目的とした機器ではございませんので、あらかじめご了承ください。



作成の流れ（要点）

01	付属の水素水接続管を用意します。
02	本体を水素モード（H_2）にして、専用接続管を共通接続口に接続します。
03	水の入ったペットボトルへ接続管の先端を入れ、バブリングします。使用後は接続管を外します。

※水素濃度は生成条件によって異なります。本書では測定値を示していません。

精製水ランプが点滅した場合

HyuuRa 専用精製水を約 500mL（1 本）補充してください。



補充の手順

01	HyuuRa 専用精製水（500mL）を 1 本用意します。
02	本体上面の給水キャップを外し、給水口へゆっくり注ぎます。
03	水道水・ミネラルウォーターは使用しないでください。
04	運転終了後は本体内部で数時間毎に自動循環メンテナンスなどの動作が行われます。その為、精製水が不足した場合は給水ランプが点滅しますので精製水を補充してください。
指定水	日本薬局方（JP）および JIS A2 クラスの規格を満たす、製造元指定の精製水をご使用ください。

※指定外・規格外の精製水を使用した場合は、保証対象外です。

フィルター交換及びカバーの取り外し

フィルター交換前に、付属の＋ドライバーで 4 本のネジを外します。



取り外しの流れ

01	本体背面のフィルターカバーのネジ 4 か所を確認します。
02	付属の＋ドライバーで 4 本のネジを緩め、すべて外します。
03	カバーを手前に開いて取り外し、フィルターと接続部を確認します。
ご注意	ネジを紛失しないように保管し、無理な力を加えずにカバーを外してください。

フィルターの交換

使用済みフィルターを外し、新しいフィルターを固定します。

① 使用済みフィルターを取り外す

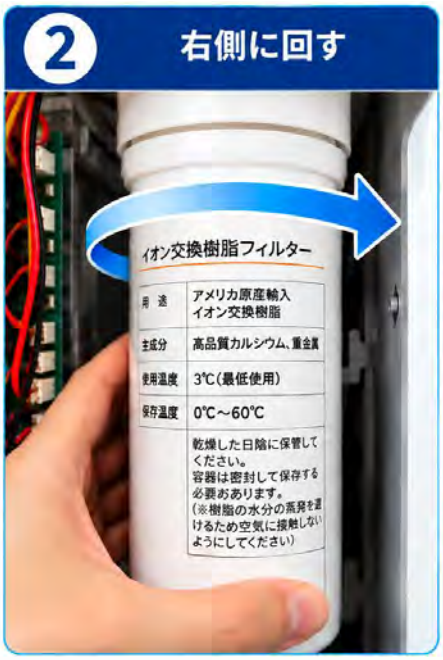


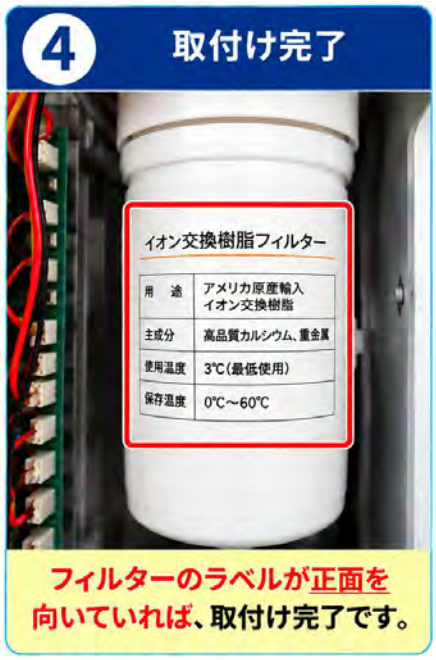


左側に回してから、下に引き抜きます。

② 新しいフィルターを取り付ける



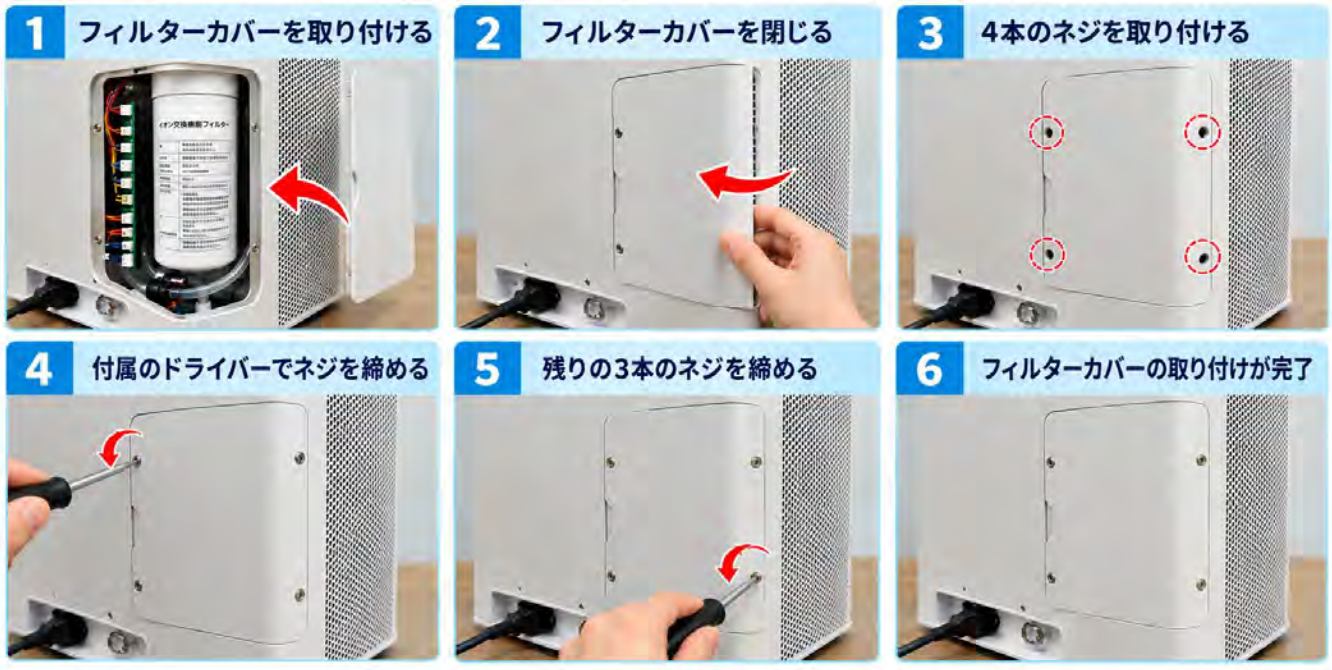




凹凸部を合わして垂直に差し込み、右側に回して固定します。ラベルが正面を向いたら完了です。

フィルターカバーの取り付けとリセット方法

取り外しと逆の順番でカバーを取り付け、4 本のネジを締めます。



取り付け後　「準備モード／フィルター」ボタンを指で長押しし、必ずリセットしてください。



イオン交換フィルターの交換目安は 500 時間です。リセット操作を忘れると使用時間を正しくカウントできなくなるおそれがあります。

給水キャップの清掃・交換について

給水キャップのパッキンは、長時間取り付けたままにしておくと、水筒のキャップと同様に汚れやカビが発生する原因となります。衛生的にご使用いただくため、**定期的に取り外して清掃してください。**

また、**清掃しても汚れやカビが落ちない場合は、衛生面を考慮し、新しいパッキンへの交換をおすすめします。**

※注意事項

汚れや水分を放置すると、**カビや雑菌が繁殖する**おそれがあります。清潔な状態を保つため、定期的なお手入れをお願いいたします。



確認のポイント

01	給水キャップの状態を確認します。
02	キャップの汚れが落ちない、パッキンが傷んでいる場合は交換をご検討ください。
03	交換後は、キャップを正しく閉めた状態で使用してください。

返却・輸送時の精製水の排水

返却時や輸送時には、必ず本体に残った精製水を排水してください。



排水手順（要点）

01	排水管と水を受けるペットボトルなどを準備します。
02	排水管をボトルに差し込みます。
03	本体背面の排水口の金具を右へスライドしてから、排水口にチューブを接続します。
04	残っている精製水を排出し、製造元の指示に従って取り扱ってください。
故障防止	精製水が入ったまま長時間の持ち運び・移動をしないでください。

Radon（ラドン）について

ラドンは自然界に存在する放射性の気体です。

ラドンに関する説明

天然のラジウム鉱石から生じるラドンについて、低線量放射線による「ホルミシス」効果が期待されるという考え方があります。

ある物質が高濃度・大量に用いられた場合は有害な物質となるのに対し、低濃度・微量に用いた場合に、有益な作用をもたらす現象を『ホルミシス効果』といいます。

低濃度を微量に使用するのは地球上の自然放射線であり、低放射線のホルミシス効果とは、身体が微量の放射線を受けると細胞などが刺激を受けて、その働きを活性化させ、毛細血管が拡張して新陳代謝も促進、免疫力や自然治癒力を高める効果が期待できる事をいいます。

測定値・参考値

① 吸入口の値	毎時 約 4〜13 μSv（マイクロシーベルト） ※天然鉱石を使用するため、測定条件で変動します。
② 自然放射線	年間 約 2.4 mSv（ミリシーベルト） ※2. 4 ミリシーベルト＝2, 400 マイクロシーベルト
③ 医療被ばく	年間 約 2.5 mSv（ミリシーベルト）※レントゲン検査などの医療被ばく ※2. 5 ミリシーベルト＝2, 500 マイクロシーベルト ②＋③＝**4. 9 mSv（ミリシーベルト）＝4, 990μSv（マイクロシーベルト）**
④ 吸入器のラドン吸入による年間平均値を算出した場合	吸入口の平均値を 6.5μSv（ミリシーベルト）とした場合。（1 日 1 時間）× 365 日 ＝ 約 2.37 mSv（ミリシーベルト）という試算が示されています。 ※②＋④＝**4. 77 mSv（ミリシーベルト）＝4, 770μSv（マイクロシーベルト）**

※上記の「μSv/h」は測定点での線量率の表示です。吸入による個人の実際の被ばく線量や安全性を、この数値の単純な乗算・合計だけで判断することはできません。

重要な注意	ラドンは放射性気体です。自然放射線などの年間平均値との単純な比較だけで、吸入の安全性を判断することはできません。使用時間と製造元の注意事項を守ってください。

使用時間について

本機のラドンモードは 1 回 1 時間のみの設定です。本書に記載された操作上の制限を守ってください。

補足説明

人間は普通に生活していると年間約 2,4 ミリシーベルトの自然放射能を浴びていて、健康に影響を及ぼす被ばく量は短時間で約 1,000 ミリシーベルト「1 シーベルト(Sv）」といわれています。 またレントゲン検査などの医療被ばくは年間約 2,5 ミリシーベルト（2,500 マイクロシーベルト）と言われています。よって合計で**年間約 4.9 ミリシーベルトを被ばくしている計算になります。ここまでなら許容範囲と定めた場合、**吸入口の濃度が毎時 4〜13 マイクロシーベルト（天然のラジウム鉱石を使用している為、使用環境・測定条件により数値は変動）である Radon（ラドン）モードを使用して最大 1 時間吸入した場合、（次ページへ続く）

Hyuura P28

濃度の平均値を 6.5 マイクロシーベルトとして算出した年間被ばく量は 2.37 ミリシーベルト（1 日 6.5 マイクロシーベルト吸入×365 日＝2,370 マイクロシーベルト）となります。2,370 マイクロシーベルトはミリシーベルトに置き換えると 2.37 ミリシーベルトとなります。自然放射能 2,4 ミリシーベルト（2,400 マイクロシーベルト）+ラドン吸入 2.37 ミリシーベルト（2,370 マイクロシーベルト）＝年間約 **4.77 ミリシーベルト**（4,770 マイクロシーベルト）となります。　よって **4.77 ミリシーベルト＜4.9 ミリシーベルトとなり、許容範囲内と判断しております。**

※1000 マイクロシーベルト＝1 ミリシーベルト　※1000 ミリシーベルト＝1 シーベルトとなります。



ドイツ産ラジウム鉱石（原石）からの加工及び設置工程

製造工程の概要を図で紹介します。



工程の流れ（要約）

01	ラジウム鉱石の原石を用意します。
02	鉱石をプレート状に加工し、シリコンシートに加工します。
03	シートを専用容器に入れ、組み立てます。
04	完成した鉱石容器を HyuuRa 本体に設置します。

付属品一覧①

開封後、数量と状態を確認してください。写真は大きさを調整しています。

01 電源コード



本体背面の電源接続部に使用。

02 鼻腔カニューラ



鼻から吸入するためのチューブ。

03 鼻腔カニューラヘッドセット



顔まわりに装着する吸入用ツール。

04 水集器（タンク）



2 時間以上の水素系モードで使用。

05 水素水接続管



水素水作成時のバブリング用。

06 排水管



本体背面の排水口に接続。

接続に注意　水集器（タンク）は、水素・水素＋酸素モードの接続で使用してください。

付属品一覧②

交換・お手入れ用の部品は、紛失しないように保管してください。

07 ドライバー



フィルターカバーのネジ取り外しの時に使用します。

08 予備ネジ



フィルターカバー固定用（予備）2 本。（レンタルは附属なし）

09 給水口の蓋



納品時に**本体に装着済み。**

10 イオン交換フィルター



納品時は**本体に装着済み。**
500 時間で交換。

11HyuuRa 専用精製水 2 箱（計 24 本）



※初回のお届け時のみ付属します。
※吸入器本体とは別便でお届けします。

付属内容は販売・レンタル条件によって異なる場合があります。

製品仕様（スペック）

仕様の表示値と使用条件を確認してください。

製品名	HyuuRa（ヒューラ）水素ラドン O_2吸入器
型番	MP1500W
水素生成量	1,000mL／分
水素純度	99.995%以上
酸素生成量	500mL／分
酸素純度	99.995%以上
ラドン（容器内濃度）	約 150,000Bq／m^3　※容器内の濃度であり、実際に吸入する濃度ではありません
放射線量の参考表示	容器内：約 800〜1,100μSv/h ／ 吸入口：約 4〜13μSv/h
運転時間	1・2・8 時間（ラドンモードは 1 時間のみ）
外形寸法	幅 330 × 奥行 250 × 高さ 360mm
重量	約 11kg
電源	AC100V 50／60Hz／最大 430W
鉱石の産地	ドイツ産ピッチブレンド鉱石、一部コンゴ産鉱石
製造国	日本
製品保証	購入日から 1 年間（レンタルは契約条件に準ずる）

精製水	日本薬局方（JP）および JIS A2 クラスの規格を満たす、製造元指定の精製水をご使用ください。

※放射線の参考表示値は測定条件で変わります。個人の実際の被ばく線量を表すものではありません。

保証・お問い合わせ

取扱説明書・保証書・購入記録をあわせて保管してください。

保証期間	購入日から 1 年間。レンタル品のサポート条件は各契約内容をご確認ください。

保証対象外となる主な場合

01	購入日から 1 年が経過した場合。
02	風水害・地震・火災・落雷・異常電圧などによる故障。
03	販売店・製造元の認めない第三者による修理・改造などによる損傷。
04	本来の用途以外の使用や、本書の操作手順・注意事項に反する取り扱いによる損傷。
05	フィルター・精製水などの消耗品・交換部品。
06	指定した精製水を使用しなかった場合の故障。 日本薬局方（JP）および JIS A2 クラスの規格を満たす、製造元指定の精製水をご使用ください。
07	規定外の電流・定格外のコンセント・過負荷延長配線などによる損傷。
08	製品故障に伴う二次的損害等（詳細は保証規定に準じます）。

お問い合わせ	HyuuRa（ヒューラ）サポート　0800-888-6101

保証書（ご購入証明書貼付欄）

ご購入日を確認できる「納品書」または「領収書」を、こちらに貼り付けて大切に保管してください。

※保証サービスをご利用の際に、ご購入日を確認するため必要となります。

商品名	HyuuRa（ヒューラ）水素ラドン O_2吸入器
型番	MP1500W
ご購入日	年　　月　　日
お名前	
ご住所	〒
お電話番号	
販売店・代理店	
備考欄	

販売元

株式会社リクシード（Radomis）

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-1-6　渡東ビルアネックスⅡ 6F

困ったときの確認

表示ランプと接続部を確認し、無理に運転を続けないでください。

給水ランプ	「精製水を入れる」が点滅 → 専用精製水を約 500mL 補充する（21 ページ）。
詰まり表示	「カニューラ詰まり」が点滅 → チューブの詰まり・折れ・接続を確認し、電源 OFF 後に ON。
内部冷却	「装置内部冷却中」が点滅 → 停止し、点滅が終わるまで数分待つ。周囲の通気も確認。
フィルター	500 時間の交換ランプが点滅 → フィルター交換後に長押しリセット（22〜24 ページ）。
使用中止	異音・異臭・異常な発熱があるときは使用を停止し、主電源を切って販売店へご相談ください。

毎日の操作｜チェック表

はじめて使うとき／使い終わったときに見返せるチェックガイドです。

チェックすること	
01	運転終了後は数時間毎に自動メンテナンスが入るので主電源を切らず、電源コードを抜かない。
02	使用前に火気を遠ざけ、十分な換気と本体の通気スペースを確認。
03	「精製水を入れる」ランプ点滅して精製水が不足していないか確認、初回は専用精製水を約 1,000mL 給水（不足ランプ点滅時は約 500mL）。
04	ON/OFF ボタンで起動。準備モードの時は約 1 分間は他のボタンを押さない。
05	運転開始時はラドン →吸引選択ボタンで→ 水素＋酸素 → 水素のモードに切り替わる。
06	タイマーは 1・2・8 時間。ラドンモードは 1 時間のみ。原則として他のモードも 1 時間としてください。
07	モードに合った接続口にチューブを取り付ける。
08	2 時間以上の水素系モードでは水集器を使用する。
09	500 時間ごとにフィルターを交換し、交換後は準備モード／フィルターボタンを長押しリセットする。
10	返却・輸送前は必ず排水する。

Hyuura P36

毎日のケアを、身近に

HyuuRa（ヒューラ） ｜ 水素・酸素・ラドン 3 モード吸入器



HyuuRa（ヒューラ）

ご不明な点は、サポート窓口までお問い合わせください。

サポート	フリーコール：0800-888-6101

HyuuRa / by Radomis

この取扱説明書は大切に保管してください。